

## 「荒川・下水道フェスタ2023」活動報告

神山 真一

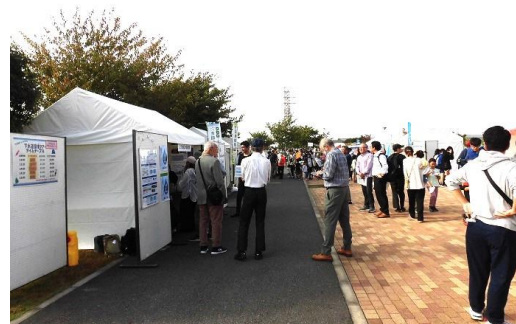
埼玉県と埼玉県下水道公社の主催による「荒川・下水道フェスタ2023」が、10月14日（土）に荒川水循環センター戸田市上部公園で開催された。コロナの影響で4年ぶりの参加となり、NPO 21世紀水倶楽部(以下、当会)と水コン協関東支部共催でブースを出展した。従来は荒川水循環センター管理棟前の駐車場スペースを活用して実施していたが、再構築工事の関係で会場が戸田市上部公園に変更になった。また、開催時間も従来は午前9時30分～16時までであったが、12時から16時までの4時間に短縮された。当日は天候に恵まれ会場には地域の人達を中心に約3,000人が訪れた。会場となった戸田市上部公園は荒川水循環センターの水処理施設の上部を公園にしたもので、多目的広場やパークゴルフ場などが整備され、広さが6.3ヘクタールあり戸田市が管理している。

出展したブースの説明として当会から6名、水コン協関東支部から4名が参加した。ブースでは来場者に下水道のしくみを理解してもらうために大型パネルを利用した下水道クイズを企画し約200人の方に参加してもらった。また、ブースでは大型パネルの他に当会から活動内容と列車トイレのパネルを展示し、水コン協関東支部ではコンサルタントの魅力を紹介するパネルやポスターを展示した。クイズへの参加者には景品として、当会からおもしろ消しゴムと微生物クリアファイルを、水コン協関東支部から蛍光ペンを準備した。また、当会の大貫理事がミニサボテンを景品用に用意してくれた。下水道クイズは、大型パネルで下水道のしくみを説明しながら、3問(①下水処理場で水がきれいになるまでにどのくらいの時間がかかるか?②よごれた水をきれいにしてくれる微生物がたくさんいる場所はどこか?③下水処理場で電気をつくっている場所はどこか?)出題した。クイズへの参加は親子連れが多く、子どもと一緒に大人も楽しく下水道クイズに挑戦してもらった。また列車トイレのパネルもたくさんの方に興味深く見ていただき、当会の清水顧問から熱心な説明があった。

今回のイベント会場は下水処理場の上部公園でまさに空中公園そのもので実に気持ちが良い場所であった。地域の人に利用してもらっている公園の下で、多くの人が利用している下水道の処理施設があることを下水道クイズにより理解してもらったことは非常に有意義なことではなかったか。



親子で下水道クイズに挑戦



会場の出展ブース前の状況